

WindowsXP パソコンを無料 OS を入れて簡易サーバーに仕立てる。

まだ充分使える Windows XP パソコンを簡単に再利用するため、巷で話題の無料 OS、Lubuntu をインストールしてサーバーマシンに変身させてみました。

今までも、Linux 系の OS としては Ubuntu がかなり有名ですので、興味を持たれた方は多いと思いますが、ハード的にもそれなりのマシンスペックが必要でセットアップにはそれなりの知識が必要ですので簡単に導入とはいきませんでした。ところが、この Ubuntu をデスクトップ環境に LXDE を使用し OS 本体をスリムにし操作性を Windows 風に改良した、Lubuntu が開発されたのです。今回実験に使った OS バージョンは Lubuntu14.04 ですが、導入は簡単で Lubuntu 本体のインストールは 20～30 分程度で完了です。

インストールされた Lubuntu14.04 には、日本語入力ソフトやオフィス系のソフトやメールソフト含まれていますので、そのままでもパソコンとして使用できます。ただし Windows パソコンに慣れきっている人にとっては、少々使い勝手がちがうので、少しの改良が必要だと思います。(Windows 事務用パソコンのように使いたいのであれば「Lubuntu を使いやすく改造する」を参照して改良を行えば十分使えると思います。)

今回のように単なるファイルサーバーとして使うのであればファイル共有のソフトを追加するだけで十分だと思います。

Lubuntu のインストール方法について

1. 最初にインストール CD を作成するため OS の iso イメージをダウンロードしてください。

次の URL にアクセスすればそのままダウンロードが始まります。

<http://cdimage.ubuntu.com/lubuntu/releases/14.04/release/lubuntu-14.04-desktop-i386.iso>

入力が面倒な方は Web で Lubuntu14.04 ダウンロードで検索するといろいろ出てきますので、Ubuntu と Lubuntu を間違わないようにしてください。バージョンも違うとインストール方法が微妙に違ったりしますので注意してください。なお今回は 32bit 版です、64bit 版もありますが、ハードのスペックが高くないと動きがなお遅くなるようです。

2. CD 書き込みソフトを使ってダウンロードした iso イメージファイルを CD に書き込んでください。

これでインストールディスクが出来上がります。



3. インストール CD をセットしてパソコンを再起動すると次のような画面がでるので、「日本語」を選択してキーボードの「Enter」を押してください。

(再起動で立ち上がらない時はパソコンの BIOS 設定などで HDD より CD ドライブが先に立ち上げるように設定を直してください)



4. インストールの種別が表示されますので Lubuntu のインストールを選択する。

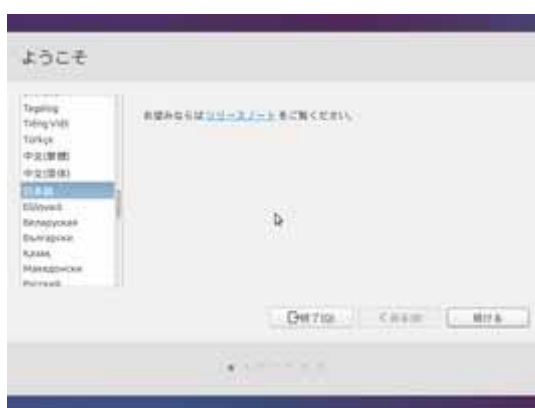
パソコンによっては残念ながら Lubuntu がインストールできないものがありますので、「インストールせずに試す」を選んで CD から立ち上げて見るのを推奨します。立ち上げに時間はかかりますがエラーが出ずに無事立ち上げるようなら再度再起動からこの画面に戻ってインストールしてください。



5. インストーラーが起動されます。



6. しばらくすると言語選択の画面が表示されますので日本語を選択して「続ける」をクリックする。



7. インストール準備の画面が表示されます。ハードディスクの空き容量とインターネットの接続されていることの欄にチェックが入っていることを確認する。

もしチェックが入っていなければ容量が足りないか、インターネットに接続されていないのでインストールはできません。



今回はファイルサーバーにするということですので、ハードディスクは容量が大きいほうがいいと思います。なお今回のインストール方法ではハードディスクは C: ドライブのみになります。(OS 使用容量は 5Gbit ほどですので残りがすべてデータ領域になります。)

容量に余裕があるのなら、「インストール中にアップデートする」にもチェックを入れてください。

なお、普通のパソコンとして使用するなら「サードパーティー・・・」にもチェックを入れてください。

8. インストールの種類を選択画面が表示されます。

ここで表示される内容は、インストールしようとしているハードデスクにより異なってきます。

Windows Xp で使っていたものであれば Windows を削除してインストールを選ぶ

パーティションを切りたいときはその他を選択して設定をする。



今回はハードディスクを削除して Lubuntu をインストールを選んでください。

「インストール」をクリックしてください。

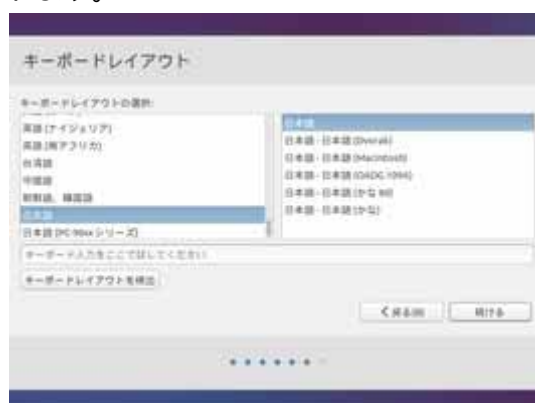
9. どこに住んでいますか？と表示されます

ので日本のどこに住んでいてもデフォルトの「Tokyo」で「続ける」をクリックする。



10. キーボードレイアウト選択の画面が表示されます。

キーボードのモデルの選択ですが殆どはデフォルトの「日本語」→「日本語」で大丈夫です。キーボードモデル名がわかっている人はそれを選択してください。



11.あなたの情報を入力してくださいの画面が表示されます。

あなたの名前

何でもいいようですが全角文字は使わないほうが良いようです。

コンピュータ名

ネットワーク上に表示される名前になります。

デフォルトでは入力した名前の後ろにハード名などが付いたものが自動

入力されますが、適当にわかりやすい名前に変更していいです。(半角文字)

ユーザー名

ログインする時に使うユーザー名です。半角で入力した方が良いでしょう。

パスワード

半角アルファベットと数字あまり短いと拒否されます。

パスワードの確認

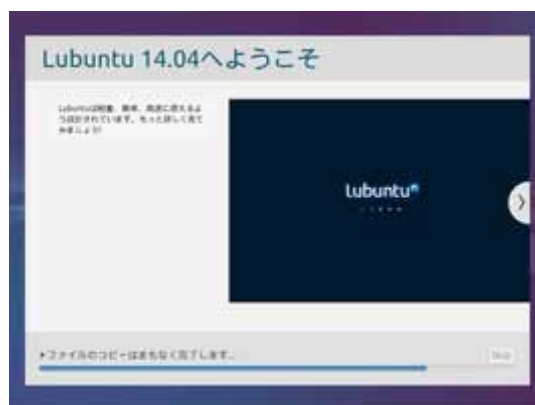
パスワードをもう一度入力します。

最後に起動するときにユーザー名・パスワードを入力しなくても良いようにする方は「自動的にログインする」の項目にチェックを入れてください。

入力した後すべての項目の右にチェックマークが入れば OK です。「続ける」をクリックしてください。

なお、ユーザー名とパスワードは必ずメモなどして忘れないようにしてください。ソフトのインストールやバージョンアップなどの時に聞いてきますので、忘れたら何もできなくなります。

12. Lubuntu 14.04 へようこそ画面が表示されてインストールが自動で実行されますので、終了して「今すぐ再起動する」の画面が表示されるまで待ってください。



13. 「インストールが完了しました・・・」の表示が出たら「今すぐ再起動」のをクリック。
14. 再起動の途中で CD が排出されますので、CD を抜いてからエンターキーを押してください。Lubuntu のデスクトップが表示されます

これで Lubuntu14.04 のインストールは完了ですが、今回のように Windows パソコンとファイルの共有を設定しサーバーとして使うのであれば、Samba をインストールしなければなりませんので「Lubuntu14.04 で Windows とのファイル共有を行う」参照してください。